

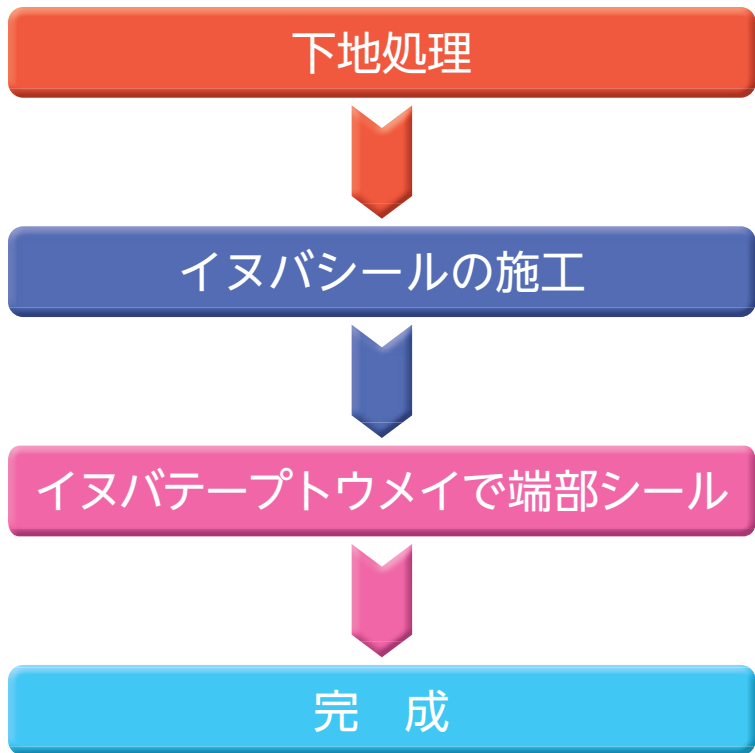
屋外タンク底部雨水浸入防止用シリコン粘着シート

イヌバシール[®]

施工要領書



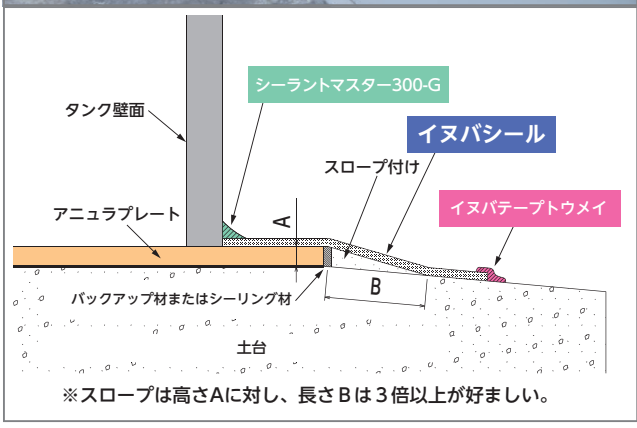
作業の流れ



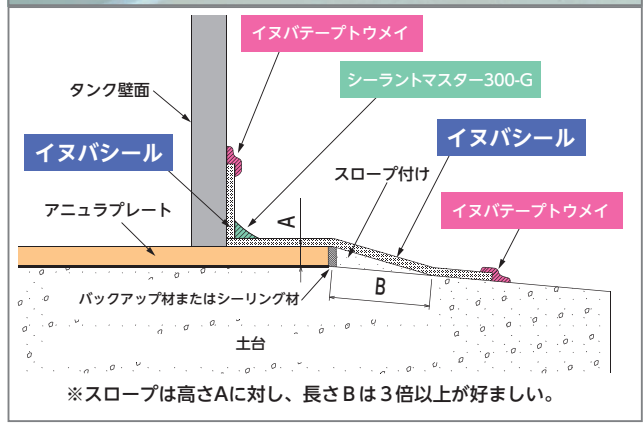
この施工要領は
下記のQRコードから
動画をご覧ください。

完成略図

犬走り部の平面部分のみの場合



タンク側面部への立ち上がりがある場合



下地処理

1

既存施工を除去します。



2

既存施工の除去後は十分にクリーニングを行い、油分・汚れ・錆などを除去します。



3

クリーニングのレベルは、イヌバシールのカットサンプルを押し付け、端部を引っ張りあげて被着体との間に〔糸引き〕が発現することを基準とします。



4

シリコーン系のシール材などでフリク調整やスロープ付けを推奨します。



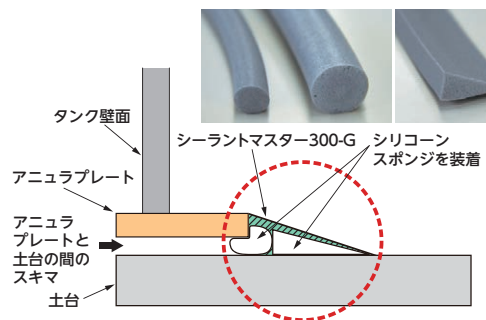
5

アスファルトの土台の上にはモルタルは接合しないため、モルタルによるスロープ付けは避け、下記の(ワンポイントアドバイス記載の)仕様を推奨します。

ワンポイント・アドバイス

アニュラプレートと土台の間の段差は、モルタルによるスロープ付けに代えてシリコーンスポンジ*のバックアップとシーラントマスター300-Gを用いることも有効です。

*イヌバシール&イヌパテープトウメイカタログP.11をご覧ください。



イヌバシールの施工

6

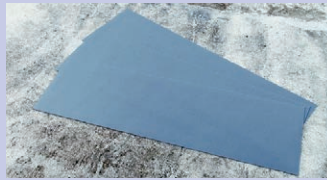
施工前の検査

- 1 塗装表面をアルコールなどを含浸させたウエスで拭き、塗料の移行や塗装面の浮きが無いことを確認します。
- 2 凹凸やサビ・塗装の剥がれなどを確認します。塗装面は油分を除去し、小石・砂などが無いようにします。



7

タンクの直径に合わせてシートの長さを調整します。
例えば、タンクの直径が15m未満の場合はシートの長さは500mm程度が適しています。

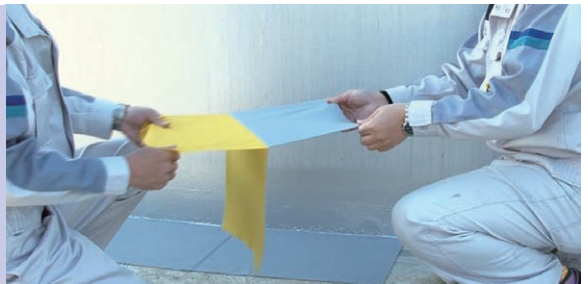


標準的な製品サイズは、幅300mm×長さ1000mmです。



8

イヌバシールのセパレータフィルムを剥がします。



9

粘着面を、タンク側面を起点に貼り始めます。

- シートは引張らず、そのままの寸法形状で貼り付けます。
- シートと犬走りの間に、空気を巻き込まないように注意します。



10

貼り付け後はシートを手で押すなどして、貼り付け面を十分に馴染ませます。



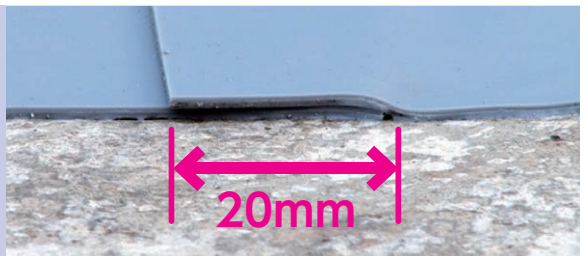
ワンポイント・アドバイス

仕上げに、加圧ロールを使うことも有効です。



11

シートの重ね合わせ幅は20mm以上とします。

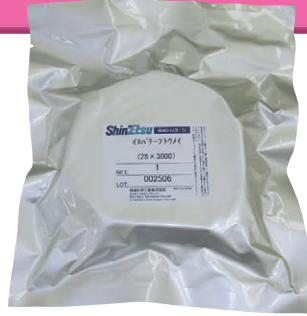


イヌバテープトウメイで端部シール

イヌバテープトウメイはアルミ防湿パックに入っています。
一卷幅25mm×長さ3,000mmです。

包装開封後は30分以内を目安に使い切ってください。
空気中の水分と反応して接着硬化が進みます。

製品の詳細は、別途「イヌバシール&イヌバテープトウメイ」カタログをご覧ください。



イヌバテープトウメイの
施工部分の動画を
ご覧いただけます。

12

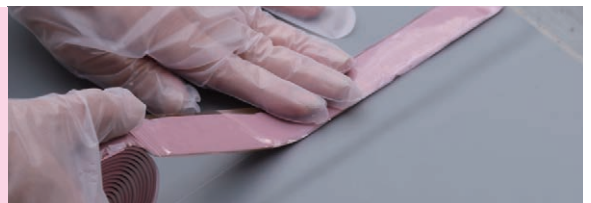
貼り付け面をアルコールなどで清掃し乾燥させます。

- 貼り付け面は素手で触らないように注意してください。
手袋の着用を推奨します。
- 洗剤を使わないでください。



13

包装を開封し、ピンク色のセパレータを上にして重ね
合わせ部分から貼りはじめ、適当な範囲まで貼り付けて
からハサミでカットします。



14

セパレータフィルムの上からローラーや指先でまんべん
なく押さえます。

- この時、イヌバテープトウメイの角が丸味をおびるほ
どになじませます。



15

セパレータフィルムを180°方向にゆっくり剥がします。

- 真上に引張ると浮き上がることがありますので注意しな
がら剥がしてください。その場合はセパレータフィルム
を用いて再度押さえつけてください。



16

端部も同様に貼り付けます。

- イヌバシールの端部と土台の両方に被るように載せます。
- テープ同士の重なり部分は上からしっかり押さえつけて
ください。この時も、イヌバテープトウメイの角が丸味
をおびるほどにしっかりとなじませます。



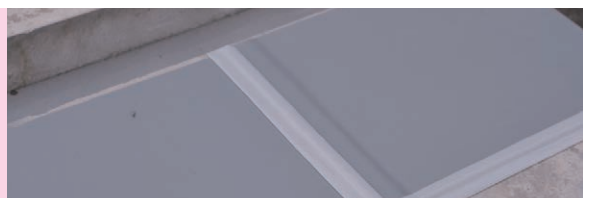
17

イヌバシール敷設部とタンク壁面との入り隅のシールに
はシーラントマスター 300Gを使用します。



完成

硬化接着するまでこのまま一昼夜おいて完成です。



タンク側面への立ち上げが必要な場合

タンク側面への立ち上げが必要な場合は、イヌバシール(50×3000)ROLLまたは(100×3000)を貼り付け、同様にイヌバテープトウメイでシールします。入り隅のシールにはシーラントマスター 300Gを使用します。

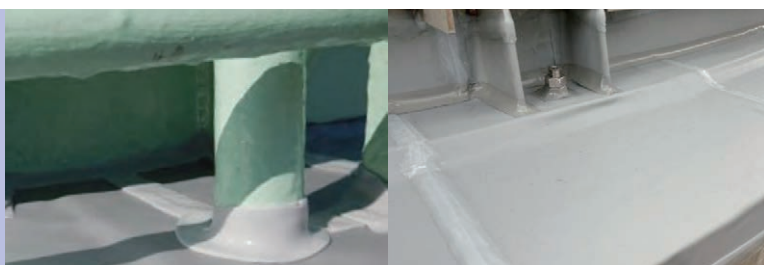


アンカーボルト周りの施工の工夫

アンカーボルト周りのシールにはイヌバテープトウメイ又はシーラントマスター 300Gを使用します。

アンカーのシャフトの根元周りのシールにイヌバテープを使用した例(左)

アンカーボルトボックスの入り隅のシールにシーラントマスター 300Gを使用した例(右)



イヌバシールの撤去・再施工の手順

敷設済みのイヌバシールを撤去する場合は次の手順で下地を調整し、P.3『下地処理3』から始めます。

イヌバシールの端部から金属ヘラを挿入し粘着層ができるだけ残らない様に研ぎます。



残った粘着層は荒目の研磨スポンジなどを用いて清掃します。
Sコート58(無色透明の低粘度液体)を塗布し、風乾10分で硬化させます。

この上に改めてイヌバシールを敷設します。



イヌバシール施工後に生じる可能性のある現象について

■ 外周端部の剥がれ発生

アスファルト土台では、イヌバシール外周端部のシールを行うと内側に引っ張られる力で端部にクラックが生じる場合があります。この場合、最外周のシールを省略して対処します。イヌバシールが横方向に追従します。



外周端部シールを省略しても可

補修が必要な場合は、細長く製品を貼り、外周部はシールを省略します。



■ シワの発生

イヌバシールは高強度の薄いゴムシートのため、施工後にタンクの動きなどで部分的な膨らみやシワが生ずることがありますが、雨水浸入防止の性能に問題はありません。



■ タンク底板と土台の間をエアを逃がすためにシリコンゴムチューブを使用した例



※シリコンゴムチューブについては、別途お問い合わせください。

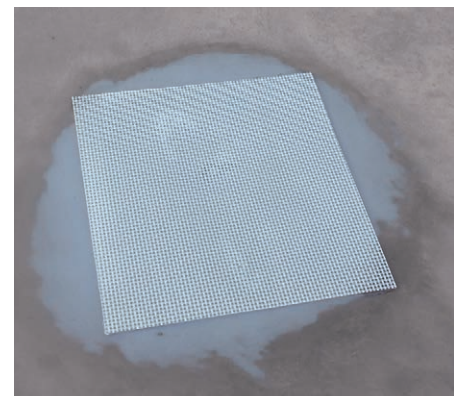


エアも水蒸気も共に逃がせません。

■ 変色

(合成ゴムの上の部分が茶色に変色したテスト例)

被着体が一部合成ゴムの場合、可塑剤などの成分の移行によりイヌバシールの表面が変色する場合があります。この場合、養生テープなどで、残存する合成ゴムとイヌバシールの間を縁切りしてください。



■ 鳥害(カラスなどの鳥類が刺さるとい現象が発生した場合)

あけられた穴の周囲をアルコールなどで洗浄し、その部分から雨水が入らないようにシートを貼って補修します。

イヌバシールおよびイヌバテープトウメイについてのお問い合わせは

本社 シリコン事業本部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング
営業第三部…………… ☎(03) 6812-2409

大 阪 支 店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-11-4 損保ジャパン日本興亜肥後橋ビル… ☎(06) 6444-8226

名 古 屋 支 店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-5-28 桜通豊田ビル…………… ☎(052) 581-6515

福 岡 支 店 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-12-20 日之出天神ビル…………… ☎(092) 781-0915

ご用命は

- 当カタログのデータは、規格値ではありません。また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更する事があります。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 安全性についての詳細な情報は、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは、当社ウェブサイトからダウンロードしてください。なお、ウェブサイトに掲載されていない場合は、担当営業部署までご依頼ください。



SDSダウンロードURL:
<https://www.silicone.jp/support/sds/>

- 当社シリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえご使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。
- このカタログに記載されているシリコン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧めいたします。
- 本資料を転載されるときは、当社シリコン事業本部の承認を必要とします。



当社のシリコン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。

群馬事業所 ISO 9001 ISO 14001
(JCQA-0004 JCQA-E-0002)

直江津工場 ISO 9001 ISO 14001
(JCQA-0018 JCQA-E-0064)

武生工場 ISO 9001 ISO 14001
(JQA-0479 JQA-EM0298)

<https://www.silicone.jp/>